

令和8年度
入学のしおり



松山市立湯山中学校

松山市溝辺町甲508番地の1

《 TEL 977-0402 》

《目次》

- P 1 令和 7 年度 入学式のご案内
- P 2 ・ 3 湯山中学校「教育計画」
- P 4 ～ 7 湯山中学校の紹介
- P 8 生徒会申し合わせ事項（服装心得）
- P 9 学校の事務に関すること
- P 10 湯山っ子 家庭学習の手引き（中学生版）

令和8年2月5日

新入生保護者 様

松山市立湯山中学校
校長 池田 秀彦

令和8年度 入学式のご案内

立春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。お子様も小学校卒業を控え、4月からの中学校生活に胸をはずませていることと存じます。

さて、湯山中学校令和8年度入学式を下記のとおり挙行いたします。ぜひご出席いただき、お子様の入学をお祝いくださいますよう、ご案内申し上げます。

記

1 期 日	令和8年4月9日（木）		
2 場 所	松山市立湯山中学校 体育館		
3 日 程	受 付	8：40 ～ 9：00	
	新入生入場	9：28 ～ 9：30	
	式 典	9：30 ～ 10：10	
	諸 説 明	10：20 ～ 10：40	（保護者対象）
	学級の時間	10：20 ～ 11：20	（諸説明後に参観）
	自転車通学生指導	11：30 ～ 11：50	（該当生徒・保護者）

※ 各種感染症の流行等による時間変更や、非常変災による変更などがありましたら、連絡アプリ（tetoru）や中学校のホームページでお知らせいたします。

【連絡・お願い】

- 新入生は9：00までに登校し、受付（生徒玄関）で学級名簿をもらい、自分の学級を確認して教室に入ってください。（玄関から担当の生徒が教室へ案内します）
- 教科書の配布等があるので、背負いカバンで登校してください。また、指定の上履き（かかとに記名）を持ってきてください。補助バッグも準備しておくとう安心です。
- 保護者の皆様は、9：20までに体育館にお入りください。（体育館開場8：40）
- 運動場を駐車場にします。周辺の道路には駐車しないようにしてください。
- 4月10日（金）に国語、13日（月）に社会・数学（算数）・理科の学力診断テスト（小学校で学習した内容のテスト）を実施します。
- 給食開始は、4月10日（金）です。
- 自転車通学の安全に関する説明を入学式の日に行います。また、教科書配布等で荷物も多いため、入学式の日にはできるだけ自転車で登校しないようご協力ください。

令和7年度 教 育 計 画						学校番号 14	
松山市立湯山中学校							
校長名	池田 秀彦	学級数	8 (特支2)	児 童 生徒数	182	教職員数	19

「教育目標」

笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成

「校訓」
敬愛・規律・責任

教師像

- 人間性豊かな教師
- 信頼関係を築く教師
- 自己を磨き、高め合う教師

学校像

- 活力に満ちた瞳輝く学校
- 安心できる学校
- 自他を大切にする心でつながる学校

知「やる気」

学び続ける生徒



生徒像

知 徳 体 の調和のとれた生徒

徳「本気」

礼節を大切にする
思いやりのある生徒

体「元気」

しなやかに
行動する生徒

情報発信

地域貢献

学校評価



70周年キャラクター
「ゆっぴー」

家庭との連携・協働

【心の居場所】

- 基本的生活習慣づくり
- 家庭学習の習慣づくり

地域との連携・協働

【生きた学びの場】

- 地域人材の積極的活用
- 温かい見守り活動の構築

1 湯山中学校の紹介

(1) 校章について

75年前、生徒が考えたデザインを基に作られました。



(2) 校訓について

敬 愛	互いを大切にし、思いやることのできる礼儀正しい生徒
規 律	互いを認め、高め合い秩序と規律を守る生徒
責 任	自ら考え正しく判断し、解決することのできる生徒

(3) 湯山中学校のあゆみ (概要)

昭和22年度	温泉郡湯山村立湯山中学校創立開校
昭和23年度	P T A 結成
昭和30年度	松山市立湯山中学校と改称
昭和33年度	教育後援会発足
昭和43年度	校訓碑建立
昭和46年度	P T A 「いでゆ」 初刊行
昭和47年度	校旗授与式
昭和53年度	校名碑除幕式、学校給食共同調理場・プール落成式
昭和55年度	管理棟落成式
昭和57年度	「あいさつ運動」松山市から善行表彰、松山市学校保健優良学校受賞
昭和59・60年度	文部省指定道徳教育推進校
昭和60年度	松山市学校保健優良学校受賞
昭和63年度	新運動場完成、柔剣道場改築完了
平成元年度	体育館新築落成記念式典、松山市制百周年記念校区文化祭
平成 2年度	特別教棟増築完成
平成 8年度	50周年記念航空写真撮影
平成13・14年度	松山市人権啓発劇発表会で文芸企画部が最優秀賞を受賞
平成18年度	湯山中学校創立60周年記念体育大会
平成21年度	全日本学校歯科保健優良校表彰において奨励賞を受賞
平成22・23年度	「森はともだち」推進事業(森林環境税活用事業)指定校
平成24～26年度	「松山市幼保小中連携教育」研究指定校
平成26年度	青少年読書感想文全国コンクール「学校賞」受賞
平成25～27年度	松山市いじめ防止CM「教育長賞」受賞(3年連続受賞)
平成28年度	創立70周年、記念キャラクター「ゆっぴー」制定
平成29年度	運動場防球ネット完成
平成30年度	「まつやま・いじめ0の日」の取り組み 最優秀校表彰
令和元年度	直結給水方式水飲み場「のめるん」設置
令和4年度	テニスコート防球ネット完成
令和5年度	教室空調室外機の防音移設工事完了、P T A 「いでゆ」廃刊
令和6年度	男子ソフトテニス部 県総体個人1位 四国大会出場
令和7年度	文化祭人権劇上演

2 湯山中学校の教育活動

(1) 学習の内容

① 教科等

中学校では、皆さんが小学校で学んだことを基にして学習を進めます。また、授業時間ごとに担当の先生が交代し、専門的に教科を受け持ち、学習を進めていきます。

1週間の授業時間数は、下の表のようになっています。

学年	必修教科の授業時数									道徳	特活	総合	合計
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語				
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

② 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間には、各学年で横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習など創意工夫を生かした学習を行います。（令和6年度）

1年生 主題 「夢・地域に生きる」

内容 (SDGs学習、防災・環境学習、キャリア教育)

2年生 主題 「夢・社会に生きる」

内容 (SDGs学習、職場体験学習、キャリア教育)

3年生 主題 「夢・未来に生きる」

内容 (SDGs学習、福祉学習、キャリア教育)

(2) 生徒会活動

自分たちの学校生活を自分たちの力で築き上げていくという気持ちで活動しています。

生徒会の役員は立候補し、皆さんの選挙によって選ばれます。

学級の委員は次のようになっています。

学級委員長	図書委員	生活環境委員	
体育委員	保健委員	給食委員	※ 視聴覚委員

※ 特別委員として、原則1年間を通して活動する。

〈主な委員会活動及び生徒会活動〉

あいさつ運動 古紙・アルミ缶・紙パック回収運動 インクカートリッジ回収運動
エコキャップ運動 自転車点検 いじめ0運動

(3) 主な学校行事

1 学 期	2 学 期	3 学 期
始業式・入学式 4月診断テスト 修学旅行(3年) 大洲宿泊活動(1年) 住所確認(家庭訪問) 各種健康診断 松山市総合体育大会 期末テスト 終業式 親子奉仕活動(夏休み)	始業式 9月診断テスト 職場体験学習(2年) 体育大会 松山市新人体育大会 文化祭(合唱コンクール) 期末テスト 終業式	始業式 1月診断テスト 少年の日記念集会(2年) 少年の日記念行事(2年) 学年末テスト 卒業式 修業式

(4) 部活動

部活動は、放課後、希望者が集まって顧問の先生の指導のもとに活動しています。

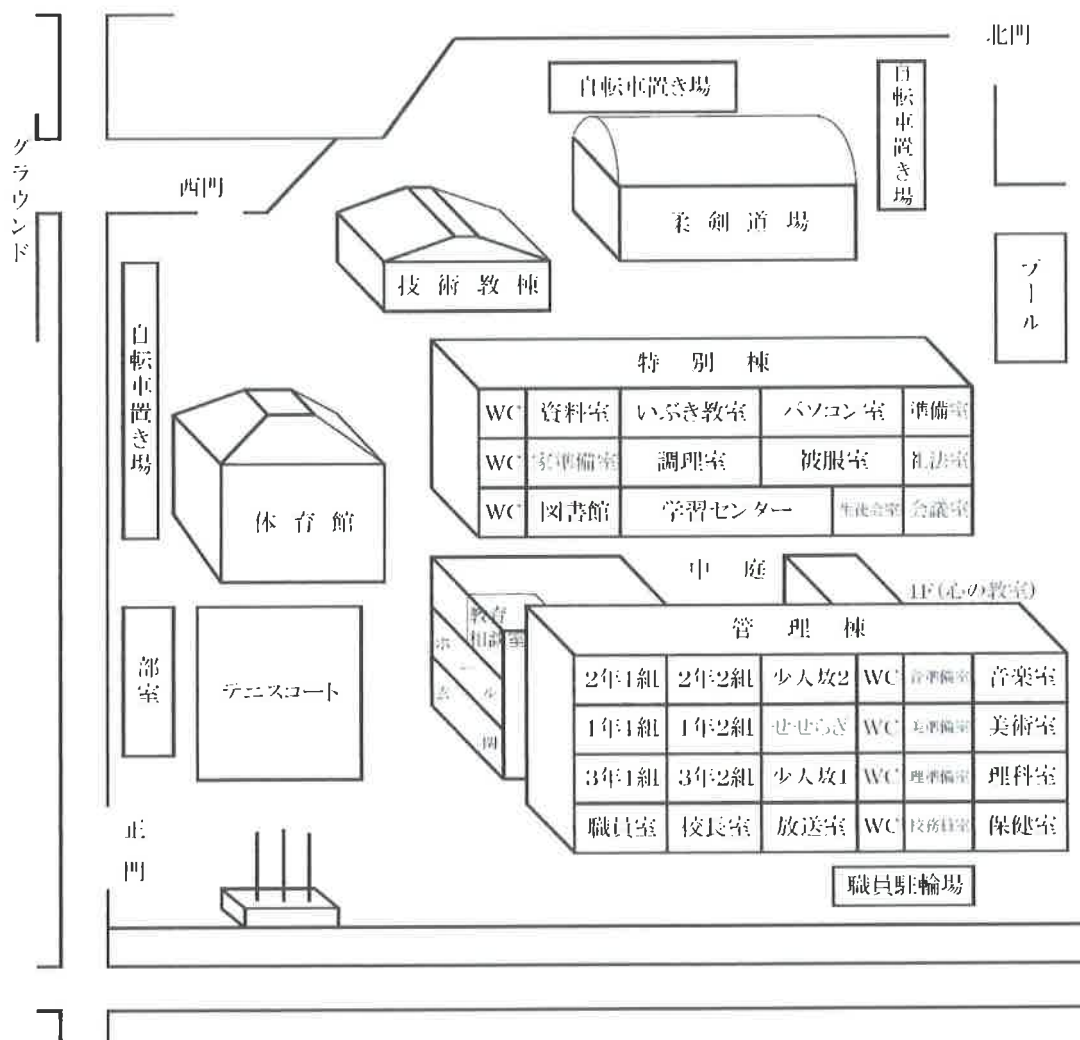
4月中に部活動紹介を行い、体験入部を経て入部になります。令和7年度の部活動は下記のとおりでした。また、校内での部活動はありませんが、校外で剣道、柔道、陸上、ラグビー、テニス、ハンドボールの団体に所属し、松山市中学校体育連盟主催の総体や新人大会等に参加した生徒もいます。

○バレーボール男子 ○バレーボール女子 ○ソフトテニス男子 ○ソフトテニス女子
○軟式野球(男女) ○美術(男女) ○吹奏楽(男女)

日 課 表 (令和7年度)

	5 時間授業時	6 時間授業時
生徒登校	～	7 : 5 5
朝 読 書	8 : 0 0	～ 8 : 2 0
朝 学 活	8 : 2 0	～ 8 : 3 0
第1校時	8 : 4 0	～ 9 : 3 0
第2校時	9 : 4 0	～ 1 0 : 3 0
第3校時	1 0 : 4 0	～ 1 1 : 3 0
第4校時	1 1 : 4 0	～ 1 2 : 3 0
給 食	1 2 : 3 0	～ 1 3 : 0 5
昼 休 み	1 3 : 0 5	～ 1 3 : 2 5
第5校時	1 3 : 3 0	～ 1 4 : 2 0
清 掃	1 4 : 3 0～1 4 : 4 0	第6校時 1 4 : 3 0～1 5 : 2 0
終 学 活	1 4 : 5 0～1 5 : 0 0	清 掃 1 5 : 3 0～1 5 : 4 0
		終 学 活 1 5 : 5 0～1 6 : 0 0

【令和7年度 湯山中学校 校舎・教室配置図】



生徒会申し合わせ事項(服装心得) 令和8年度

1 男子の標準服は以下の通りとする。

- (1) 冬服 ○黒のつめえり学生服(標準型学生服)
○白カッターシャツ
- (2) 合服 ○白カッターシャツ、学生ズボン(ノータックストレート)
- (3) 夏服 ○白半そでカッターシャツ、学生ズボン(ノータックストレート)
- (4) ベルト ○ベルトは黒、紺または、茶。長さはベルト通しから垂れない長さとする。

2 女子の標準服は以下の通りとする。

- (1) 冬服 ○背広式ダブル上着、冬用プリーツスカートまたはスラックス、白ブラウス、赤棒タイ
- (2) 合服 ○白長そでブラウス、ベスト、赤棒タイ、冬用プリーツスカートまたはスラックス
- (3) 夏服 ○半袖オーバーブラウス、スカートまたはスラックス
○年間を通して丈はひざが隠れる程度の長さであること。

3 頭髪は以下の通りとする。

- 中学生らしい髪型とする。
- パーマ、染色、脱色、そり込みをしない。
- 髪の長さについて
 - ・前髪は目にかからない程度にする。
 - ・後ろ髪が肩にかかる場合は、横髪とともにゴムでくる。また、横髪が落ちてくる場合は、ピンで留める。
 - ・髪が長い場合は耳の下で二つ、または一つに結ぶ。長くなれば三つ編みにする。
- 髪留めやヘアピン、ゴム(黒、紺、こげ茶)は派手でないものとする。
- 整髪料(ムース、スプレー、消臭スプレー)は使用しない。

4 男女共通

- (1) 上靴は、規定の体育館シューズ
- (2) 下靴は、白を基調としたひも付きのものとする。ラインやワンポイントが入っていても可。ラインやワンポイント、色等は、既定の体育館シューズと同程度。ひもや靴底は色つきでないものとする。蛍光色などの派手な色は避ける。体育の授業に適さないものやかかるとに記名が明瞭にできないものは不可。
- (3) 靴下は、白、紺、または、黒のソックス(ワンポイント可、ハイソックス不可、くるぶしの隠れるもの)とする。
- (4) まゆ毛をそったり抜いたりしない。
- (5) カバンに装飾品、キーホルダー等を付けない。(お守りは可)
- (6) ネックウォーマー、マフラー、手袋は校舎内では使用しない。(華美でないもの)

5 その他

- (1) 名札は、夏・合・冬服とも左胸ポケットのところに付ける。
- (2) カバンは学校指定のものを使用する。
- (3) 体操服は規定のものを着用する。
- (4) 薬用リップクリームを使用してもよいが、時と場所を考える。
- (5) 学校生活や学習に不要なものは持ってこない。
- (6) 服装の移行期間は設けない。気候に応じて衣替えをする。(冬季)
- (7) 男子はトレーナー、セーターを着用してよい。派手でない色とし、上着から出さない。
- (8) 女子はVネックセーター、トレーナーを着用してよい。
棒タイが見えること、派手でない色、上着から出さない。
- (9) 寒い日は女子はベージュ、または黒のタイツをはいてもよい。
- (10) 寒い日はカイロを持参してもよい。ただし、校内に捨てたり遊んだりしないこと。
- (11) 登下校時の防寒着については、標準服(上着・ズボン)着用の上、上下とも使用してよい。
スカートの生徒は、冬用体操服の下を防寒着として使用してもよい。(スカートと一緒に着用しない。)
- (12) 座布団、ひざ掛けを持ってきて使用してよい。

《学校の事務に関すること》

1 学籍について

転居する場合は、「転校する・しない」に関わらず、市役所（支所）で住民異動手続きをする前に、必ず湯山中学校（学級担任）へお知らせください。

2 就学援助制度について

松山市に住所を有し、経済的な理由で小中学校に児童生徒を就学させることが困難な保護者に対して、松山市教育委員会が学用品費や給食費などの援助を行う制度です。

詳細につきましては、令和8年1月下旬に湯山小・中学校から配布している「～就学援助のお知らせ～」や松山市ホームページ（就学援助のページ）をご確認ください。

来年度、制度を希望する場合は、小学校へ申請書類を提出していると思います。まだ手続きをされてない場合は、入学式までに中学校へお申し出ください。

3 校納金について

給食費、PTA会費、教材費等の諸経費を校納金として、御指定の預金口座から振替により集金させていただきます。

松山市内の小学校で、校納金の口座登録をされている場合は、改めて手続きをする必要はありません。

原則として、月の初日に1回目の引落があります。1回目の引落から約20日後に再振替があります。再振替でも引落ができなかった場合は、納付書等での支払いとなります。ただし、納付書等での支払いは手数料がかかる場合があります。

円滑な学校運営と適切な会計処理を行うために、振替日に口座振替ができますように御協力をお願いいたします。

4 各種証明書等について

在学証明書や学生証、学校学生生徒旅客運賃割引証（JR学割）等の発行ができます。発行に時間を要する場合もあるため、日数に余裕をもって申請してください。

湯山っ子 家庭学習の手引き（中学生版）

令和7年度

松山市立湯山中学校

中学校では、「確かな学力を育てる」ことを重点目標の一つとし、松山市の授業モデルの活用やTT（ティームティーチング）による指導を通した、「わかる授業」を展開し、子どもたち一人一人に学習内容が定着することを目指しています。さらに、家庭と連携することで、その効果が高まると考え、『家庭学習の手引き』を作成しています。内容をご確認いただき、家庭における自学自習の習慣化が図られ、生徒の学習活動が一層充実するよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

＜家庭学習を習慣とするために＞

☆ 規則正しい生活で学力アップ

- 早寝・早起き・朝ご飯、朝の排便の習慣化
- 家族であいさつを交わす
- 「テレビ」「ゲーム」「インターネット」「スマホ」等は家庭でルールを決める。
- 時間を決めて学習する。家庭学習を習慣づける。
学習時間の目安→学年+1時間（2～4時間）
- 忘れ物をしないように学習道具をそろえる。

☆ 学習の3つのポイント

- 学習計画を立てる。（家庭で勉強する時間割）
- できるだけ具体的に計画する。（〇〇を何ページなど）
- 学習環境を整える。

＜学習環境＞

部屋が散らかった状態、勉強する場所にテレビや音楽、ゲーム、携帯電話などがあって、それが気になる環境では、集中できません。ご家庭でもご協力をお願いします。

＜学習に対する考え方＞

- ① 具体的な目標を持つ。
- ② 自分の弱さに負けない取組を身に付け、あきらめずに続ける。
- ③ 他の人と比較をしない。その時の自分の実力を率直に認める。
- ④ 自分を支えてくれている人に感謝の気持ちを持つ。
- ⑤ AIに負けない考える力と読解力、コミュニケーション力を身に付ける。

＜各教科の家庭学習＞

教科	予 習	復 習	教科	予 習	復 習
国語	① 教科書の文章を読み、あらましをつかむ。 ② ワークの漢字、言葉の意味のページをする。 ③ 漢字テスト等の勉強を行う。（1ページ以上） ※ 普段から新聞・本など、身近にあるもので、「読む」習慣を付けておくことが大切。	① 間違えた漢字の復習を行う。 ② 授業ノートを見てその日に習った内容を復習する。 ③ 文法や表現技法などを復習する。 ④ ワークを解く。 	理科	① いろいろなことに興味を持ち、疑問に思ったことについて調べてみる。そこから理科の学習は始まる。 ② 実験の操作等で注意することや器具の使い方をチェックする。 ③ 公式や計算問題が出たときは、ワークなどで練習問題をする。	① 復習を大切にする。 教科書とノートに目を通し、その日学んだことが理解できたかをチェックする。重要語句（教科書の太字）を中心に新しく出てきた言葉があれば、その意味を理解する。 ② 実験の操作等で注意することや器具の使い方をチェックする。 ③ 公式や計算問題が出たときは、ワークなどで練習問題をする。
社会	① 事前に教科書を読み疑問や深く知りたいことを把握する。 	<u>地理的分野</u> ① 地名、地勢に関する用語を覚える。 ② 略地図を書き、場所を覚える。 ③ 用語の意味を理解する。 ④ 地域の特色をつかむ。 <u>歴史的分野</u> ① 時代の流れをつかむ。 ② 時代ごとの特色（政治のしくみ、文化の特徴）をまとめる。 ③ 用語の意味を理解する。 <u>公民的分野</u> ① 用語の意味を理解する。 ② 図表で表されているものを自分で説明できるようにする。 ③ 新聞やニュースを見る。	英語	① 新出単語や本文を事前に確認して、授業に臨む。 ② デジタル教科書で本文を聞いて、どのような内容かおまかにつかむ。	① デジタル教科書で本文などの音読や暗唱をする。 ② 習った英単語や基本文を繰り返し練習し、意味が分かり、正確に書けるようにする。（声に出しながら書く） ③ ワークなどの問題を解き、ポイントを確認し、再度解く。（声に出しながら解く）
音楽			音楽	① 家庭や学校で関わった音楽について、興味を持ったことや感じたことを、音楽カードに継続して記録する。 ② 学習した曲の旋律や歌詞を覚え、音楽に親しむ。 ③ 速度や強弱記号、音符の長さなどの楽典的な知識を高める。 ④ 音楽活動を楽しみながら、主体的に音楽に関わろうとする気持ちで取り組む。	
美術			美術	① 風景やテレビのコマーシャルなど、普段から美しいもののおもしろいデザインなどを意識して見る。 ② 用具や資料の準備は、前日では間に合わないことが多いので、2～3日前には用意しておく。 ③ アイデア・スケッチなどの時間を要する学習内容は、あらかじめ家庭で考え、円滑に作業が進むようにしておく。 ④ 標準美術やプリントを中心に制作過程を復習する。	
数学	① 教科書を読み、難しい用語がある場合、チェックし、その意味を考える。また、授業で質問できるように準備する。 	① 復習を中心に取り組む。 ノートや教科書を見ながら、授業でやった問題をもう一度やってみる。やり方が分かっている問題は、参考書や問題集などの問題を解く。 ② 間違えたときは、赤ペンでチェックを入れ、なぜ間違えたか、考える。 ③ 問題数は1問でも数問でもよいので、1日10分、短時間で頭を使う。 ④ 自主学習ノートに問題を解く。	保健体育	① 保健の教科書の重要語句やその意味を確実に覚える。 ② 保健体育ノートを丁寧にまとめ、要点を理解する。 ③ 実技の本の図や解説を正確に読み取り、基本動作を知識としても理解できるようにする。 ④ 各競技のルールを理解する。	
家庭科			家庭科	① 授業中に黒板にまとめられたことやプリントを使って学習したことのうち、自分なりに考えて特に大切だと思うことを、もう一度ノートに書いて確認する。 ② 教科書などの図や写真をよく見て、その形や重要な部分の名前などをしっかり覚える。 ③ 授業中に行った作業や実習をよく思い出しながら、成功したことや失敗したことの原因をまとめたり、もう一度作業を行ってみたりする。	
全教科	eライブラリを積極的に活用し、各教科で自分に合った方法で学習を継続させよう。				

<メモ>